

第1回再築基準検討委員会（断熱）議事録

記録日：2014年 7月 18日

記録者：川上幸生

団体名	全国古民家再生協会連絡会議
開催日時	2014年 7月 17日（木） 11:30～12:30
開催場所	会議室のルビコン
出席者	一般社団法人古民家再生協会宮城 藤木代表理事（委員長） 東洋大学名誉教授 土屋先生 カネカケンテック株式会社 桑嶋取締役 青森県木の住まい支援協会 日野さん 一般社団法人茨城県古民家再生協会 山中代表理事 一般社団法人東京都古民家再生協会 杉本さん 一般社団法人伝統構法耐震評価機構 土橋さん 一般社団法人住まい教育推進協会 川上（事務局）
議事	開会宣言 藤木武人委員長 全国古民家再生協会連絡会議井上顧問挨拶 昨年耐震の基準策定をおこないました。本年度は皆様で断熱の基準を作ってください。そして多くの古民家を残す形でお力を貸して頂くようお願いいたします。 委員長挨拶 北海道の断熱技術を東北で広める為に活動をしています。古民家の通気性の良さ、自然素材を使った安全性などを残す方法で基準を策定して行きたいのでご協力お願い致します。 参加者紹介 各自自己紹介をおこなった。

進行並びに議事録作成者指名

進行 藤木武人委員長

議事録 事務局 川上幸生

報告事項

伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 検討委員会「石場建てを含む伝統的構法木造建築物の設計法についての報告会」について事務局川上から報告があった

7月12日、滋賀県の立命館大学で開催された「石場建てを含む伝統構法木造建築物の設計法報告会」へ参加してきました。会場は立ち見が出るぐらい超満員で石場建て構法での新築への関心の高さが感じられました。

報告会では過去5年に渡り開催した実動大実験などのデータ紹介と、それに基づき今回発表された3つの設計方法の内2つの説明がされました。設計の基本は、せん断耐力 \geq 作用せん断耐力（必要保有水平耐力に該当）をうわまらないようにすることで、設計方法は、一般住宅を対象に新しく策定された仕様規定を使用した一般設計法、寺社仏閣などへ対応出来る詳細設計法、そして今回は割愛されましたが時刻歴応答解析による汎用設計法の3つのアプローチが示されました。

議題

- ・再築断熱基準策定内容の報告性
- ・基準策定に必要な事項の洗い出し

来年2月の全国大会迄に5回の委員会を開催してま

とめたい。現在、建築基準法、品格法と二つの基準がある。省エネルギー基準＝断熱が含まれるが、国交省住宅局局長お話しでも省エネルギー基準に古民家を合わせるの難しい。古民家の良さを残してリフォームで活用できる経済的で現実的なプランを作成する。

基本的には

床は板状断熱材を使用したプラン

壁は、スケルトン改修と、土壁を残す方法の二つのアプローチで行きたい。壁断熱材の選定にあたっては伸縮性能のある素材、板状断熱材、吹き込み断熱材などをそれぞれ評価して選定をおこなって行く
内断熱、外断熱、柱間断熱の3パターンのプランを作成しては。

屋根断熱 小屋裏を室内と二つのプランでの断熱
茅葺き 天井を作って吹き込み断熱（防湿層が取れない）
現行は床100mm 壁60mm 現場発泡等を施工している。発泡断熱はリサイクルしにくいので使用は控えたいが、断熱化の補助金の選定商品であるため使用している。

普通の住宅として高气密で考えるのではなく
採暖（輻射暖房）を考えるべき。パネルヒーターなど

開口部（大開口部）は、ペアガラス、LOW-E ガラス、二重サッシなど

	<p>床断熱、キッチンは大壁で断熱化、薪ストーブ、パネルヒーター、地中熱など</p> <p>古民家の通気性を活かす、局所暖房を活用するのがいいのでは。縁側と和室内の区切りをする断熱化、家族の良さを活かす方向性。暖める場所と暖めなくていい場所（土間）を分けて考える</p> <p>断熱のトップランナー カネライト、グラス、ロックウールが選定されている。吹き付け発泡断熱はこの制度に入っていない（品質の安定性）</p> <p>断熱材はコストの安さではグラスウール。性能で選定するならフェノール</p> <p>地域性を分ける 国は8つの地域にわけているが、そこまで多くなく3つぐらいに分ける形でどうか。</p> <p>確認事項 次回会議日程</p> <p>所見 藤木武人委員長</p> <p>われわれは実績があるのだから古民家の断熱の仕方を行く通りか作成し、地域性などへの対応はオプションを用意して選択してもらおう。来年2月に向けて基準をつくり、会員さんに提示したい。</p>
<p>決定事項</p>	<p>ひとつの間取りをケースに断熱方法をシュミレーションしたものを次回検討</p> <p>間取りを事務局川上で作成（平屋50坪程度）</p>

	シュミレーションをカネカケンテック株式会社さん でおこなう。
次回開催日時	2014年9月26日(金) 10:00~12:00
次回開催場所	会議室のルビコンかカネカ会議室のどちらか
次回議事内容	シュミレーションに基づいた具体的仕様の検討